

主要な施策の概要

事業名等	事業費	内容と成果
3 未就園児入学祝 金支給	81,000 ^円	幼稚園、保育園等に未就園であった児童が小学校へ入学する場合、その保護者に入学祝金を支給した。 支給人員 18人

(3) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 学童保育事業	14,583,000 ^円	学童保育事業は、福生市社会福祉協議会に委託して、市内5クラブにおいて実施した。
2 福祉団体補助	7,372,000 ^円	各種福祉団体の運営に対し、財政援助等を実施して団体の事業目的達成を図った。 28団体
3 心身障害者(児)福祉	27,053,007 ^円	(1) 心身障害者(児)福祉手当支給 16,611,500 円 支給人数 都分 延1,382人 市分 延3,374人 (2) 重度心身障害者(児)福祉手当支給 3,766,500 円 支給人数延 731人 (3) 身体障害者保護 2,596,203 円 更生援護施設措置 延10人 補装具の給付及び修理 31件 補装具の自己負担助成 27件 日常生活用具給付 5件 (4) 精神薄弱者保護 4,078,804 円 施設措置 延36人
4 老人福祉	110,267,923 ^円	(1) 老人ホーム措置 43,448,369 円

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>対象 65歳以上</p> <p>入所措置人員 養護老人ホーム 延218人 特別養護老人ホーム 延213人</p> <p>(2) 敬老金支給 2,900,000円</p> <p>対象 75歳以上 市内に1年以上居住</p> <p>支給人員 580人</p> <p>支給額 1人 5,000円</p> <p>(3) 敬老大会 755,495円</p> <p>開催日 昭和52年7月20日</p> <p>会場 市民会館大ホール</p> <p>(4) 記念品贈呈 1,978,000円</p> <p>対象者 65歳以上 市内に1年以上居住</p> <p>贈呈人員 2,150人</p> <p>贈呈品 折りたたみかさ</p> <p>(5) 老人福祉手当支給 7,230,500円</p> <p>対象者 65歳以上の寝たきり老人</p> <p>支給人員 延747人</p> <p>支給額 1人9,500円(10月から10,500円)</p> <p>(6) 友愛訪問 432,500円</p> <p>友愛訪問員12人がひとり暮らし老人を訪問し、老人の孤独感解消と事故防止に努めた。</p> <p>(7) 老人福祉電話貸与 429,475円</p> <p>貸与 16台</p> <p>(8) 老人医療費助成 53,093,584円</p> <p>65歳以上の老人に医療証を交付して自己負担金を助成</p> <p>受給者数 国保分 1,076人 社保分 751人</p>

事業名等	事業費	内容と成果
5 保育所補助	27,044,748 ^円	<p>民間保育所運営内容等の充実を図るため、次のとおり の市単独補助を行った。</p> <p>(1) 民間保育所振興費補助 7,916,800 円 対象 措置児童 人員 延9,313人 補助額 月額 800円(4月から9月まで) 月額 900円(10月から3月まで)</p> <p>(2) 民間保育所給食費補助 3,687,948 円 対象 措置児童 人員 延9,313人 補助額 月額 396円</p> <p>(3) 民間保育所職員期末援助費補助 5,440,000 円 対象 在職職員 人員 延 218人 補助額 夏 20,000 円 冬 30,000 円</p> <p>(4) 民間保育所建設費補助 10,000,000 円 対象 新設保育所 対象 2か所 補助額 5,000,000 円</p>
6 児童手当等支給	71,792,000 ^円	<p>(1) 児童手当 51,535,000 円 被用者 延5,196人 月額 5,000円 非被用者 延5,111人 月額 5,000円</p> <p>(2) 児童育成手当 20,257,000 円 育成手当 延3,916人 月額4,000円(10月から4,500円) 障害手当 延 510人 月額6,000円(10月から6,500円) 特別手当 延 152人 月額5,000円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
7 児童措置委託	332,689,957 ^円	<p>管内民間保育所7か所、管外19か所及び管内無認可保育室2か所、管外4か所</p> <p>(1) 保育所児童措置委託料 325,224,792 円 委託措置人員 管内保育所 延9,089人 管外保育所 延267人</p> <p>(2) 無認可保育室委託児童委託料 4,977,000 円 委託人員 管内保育室 延301人 管外保育室 延161人</p> <p>(3) 入院助産措置 1,166,622 円 経済的に困難な低所得者の妊産婦を入院助産施設に入所措置し、福祉の増進に努めた。 措置数 10人</p> <p>(4) 母子寮措置 1,321,543 円 世帯数 延19世帯 人員 延88人</p>
8 生活保護	239,740,148 ^円	<p>(1) 生活保護法による扶助 237,047,441 円 扶助世帯数 延1,985世帯 扶助人員 延3,385人</p> <p>(2) 被保護世帯見舞金 924,500 円 生活保護世帯及び福祉施設入所者に対して夏期と冬期の年2回見舞金を支給した。</p> <p>(3) 被保護世帯特別見舞金 944,200 円</p> <p>(4) 被保護世帯学童生徒夏期健全育成費扶助 98,400 円</p> <p>(5) 被保護世帯学童生徒学童服及び運動衣支給扶助 411,600 円</p> <p>(6) 被保護世帯保育園児教材費等扶助 255,717 円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>市内保育園 A、B 階層児に対し、園児服、帽子、カバン、教材費の一部を扶助した。</p> <p>対象者 106 人</p> <p>(7) 被保護世帯児童慰安事業扶助 54,490 円</p> <p>市内居住の被保護者世帯学童生徒を対象に、夏休みを利用し、河口湖及び勝沼へバスハイクを実施した。</p> <p>(8) 行路人扶助 8 件 3,800 円</p>
9 国民年金	278,630,503 ^円	<p>(1) 拠出年金</p> <p>近年、年金に対する感心が高まり、被保険者数も増加しつつあり、保険料の検認率も年間平均98.7%といまひとときである。</p> <p>(2) 福祉年金受給者は年齢制限があるために伸びが少ない。加えて失権者増の傾向にあるため下降状態である。</p>

(4) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 予防関係	12,011,623 ^円	<p>各種検診等を次のとおり実施した。</p> <p>(1) 結核住民検診 568,730 円</p> <p>ツベルクリン判定及びレントゲン診断により、住民を対象として早期発見、治療を目標に実施した。</p> <p>(2) 老人検診 360,573 円</p> <p>老人福祉法に基づき65歳以上の老人を対象として健康診査を実施した。</p> <p>(3) 母子衛生 130,500 円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>妊産婦指導をかねた保育指導業務及び赤ちゃん保育コンテストにより、未熟児、双性児等の保育に努力した母親等を対象に健康管理を目標に実施した。</p> <p>(4) 成人病及び循環器検診 155,500 円 一般成人の予防検診として、すでに実施されている都のレントゲン車利用の胃がん、子宮がん検診はもちろん、特に死亡率第1位の循環器検診により早期発見と治療に努めた。</p> <p>(5) 休日診療 4,440,000 円 急救治療施設として、他市に類のない第1次、第2次診療は市民の好評を受けている。</p> <p>(6) 伝染病 6,356,320 円 組合式による伝染病運営費は上昇の一路を歩んでいる。患者は24名(しょうこう熱)発生したが消化器系患者の発生がないことが幸いだった。</p>
2 予防接種関係	12,306,081 ^円	<p>各種予防接種を次のとおり実施した。</p> <p>(1) 定期接種 5,627,610 円 対象者の年齢引き上げ、接種間隔等予防接種関係法令の大幅改正に伴い、問診書の強化を医師会に要望し、無事故をモットーに実施した。</p> <p>• 種目 三種混合(百日咳、ジフテリア、破傷風)、急性灰白髄炎(ポリオ投与)、風診接種等を実施した。</p> <p>(2) 臨時の予防接種 5,469,511 円 法改正は、従来任意接種であった日本脳炎、インフルエンザ接種を臨時の強制接種として、対象年齢を次のように定めた。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<ul style="list-style-type: none"> • 日本脳炎 満4歳に初回2回式を完了させ、追加は5歳、小4、中2の3回とした。 • インフルエンザ接種は、従来どおり3歳以上中3までを対象として実施した。 <p>(3) 結核予防接種 663,960 円 BCGは、本来定期接種に含むがツベルクリン判定は検診に含まれる。</p> <p>(4) 予防接種事故対策研修 545,000 円 西多摩医師会員の保健衛生研修会費もかねて補助する。</p>
3 環境衛生	6,176,356 ^円	<p>(1) 薬剤配布 3,150,000 円 衛生害虫駆除剤を市役所環境保全課窓口(年間)及び公共施設数か所(7月)において一般家庭へ無償で配布し、自主的な衛生害虫駆除の促進また環境衛生への意識の高揚に努めた。</p> <p>(2) 衛生害虫駆除作業 3,026,356 円 夏期臨時作業員4名により三兼消毒機2台で7月から8月まで公共施設、側溝及び宅地等を中心に煙霧駆除剤による巡回駆除作業を実施した。また6月から9月にかけて各町会へ三兼消毒機を貸し出し地域ぐるみの衛生害虫駆除作業を実施し、快適な環境作りに努めた。</p> <p style="text-align: center;">町会貸し出し実績</p> <p style="text-align: center;">延日数 38 日</p> <p style="text-align: center;">延台数 95 台</p>
4 横田飛行場周辺テレビ共同受信施設設置事業	35,239,687 ^円	横田飛行場内に建設された米軍用高層住宅等の影響によるテレビ電波障害(ゴーストスノーノイズ)を防止

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>するために行われた。障害地域外に共同受信アンテナを設置し、そこから障害のある各戸へ有線で引いていく方法により改善した結果、障害は除かれ関係住民の生活安定に寄与している。</p>
<p>5 騒音振動関係備品購入</p>	<p>1,344,000^円</p>	<p>公害測定用振動計 1,128,000 円 公害測定用音量校正器 216,000 円</p> <p>市によせられる公害関係の苦情等は、騒音振動が半数を占めており、最近増加しています。その中でも一般家庭は木造が多いため遮音効果が悪く、日常生活活動からの苦情は急激に増加しています。これら苦情処理のため備品を充実させた。</p> <p>年度末に購入しているため成果は53年度に表われている。A工場の騒音振動苦情（夜間作業の中止及び機械改善計画）、B工場の騒音苦情（改善計画書提出、現在改善中）等の事実確認（機器使用による。）等で大きな苦情が解決している。</p>
<p>6 保健相談センター建設事業 （52,53年度継続事業）</p>	<p>59,635,570^円</p>	<p>地域住民の健康の増進を図り、市民生活の各種問題に対処するための保健相談センターを建設する。</p> <p>鉄筋コンクリート造地上2階建</p> <p>延床面積 675.56 m² 敷地面積 882.40 m²</p> <p>（建設費のうち年度内に支出できない見込みのあるものについては、昭和52年度福生市一般会計補正予算（第5号）第2条により「繰越明許費」として翌年度に繰り越して使用する。）</p>

事業名等	事業費	内容と成果
7 西多摩衛生組合 (じん芥、し尿 処理)	177,004,878 ^円	<p>じん芥(可燃物)及びし尿の処理は、西多摩衛生組合において行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • じん芥(可燃物)処理量 11,235.31 t • し尿 19,321.20 kl
8 廃棄物終末処理 周辺環境整備事 業一部負担金	6,847,714 ^円	<p>羽村瑞穂両町からの「ごみの終末処分にかかる被害に対しての代償要求」について廃棄物終末処理対策協議会21市は昭和51,52年度の2か年間の投入について3億円を整備事業費として支払う。福生市は羽村町に3,766,243円、瑞穂町に3,081,471円 合計6,847,714円を支払う。</p>
9 じん芥処理委託	76,740,000 ^円	<p>じん芥の収集運搬は、2業者に委託して実施し、不燃物として収集される廃プラスチックは、業者に処分委託をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 可燃物収集量 9,834.96 t • 不燃物収集量 2,835.60 t (内再利用 548.30 t) • 廃プラスチック処分量 40.52 t
10 じん芥収集車購 入	1,916,500 ^円	<p>特別じん芥収集車(3台保有)のうち耐用年数が経過し、老朽化した1台を新車に買替え、収集作業の能率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特別収集実績 総収集量 1,218.60 t
11 し尿処理委託	87,696,000 ^円	<p>し尿の収集運搬及びし尿浄化槽汚泥運搬処分は、3業者に委託して実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> • し尿収集量 19,321.20 kl

事業名等	事業費	内容と成果
		<ul style="list-style-type: none"> • し尿浄化槽汚泥運搬処分量 17,388.80 <i>kl</i>
12 ごみ減量運動	677,290 ^円	<p>ごみ減量推進協議会を中心に各町会各種団体が活発に活動し、ごみの減量、ごみに対する市民意識の変革に努めた。</p> <p>活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> • ごみ減量推進協議会開催 • 廃品回収の実施（古紙回収運動の展開） • 清掃だより発行 年3回（6月 10月 2月）

(5) 労働費

事業名等	事業費	内容と成果
失業対策	7,117,652 ^円	<p>失業者に側溝、道路清掃及び公園の一部清掃等の仕事を提供して救済するとともに、市内の美化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 就労人員 延1,502人 • 側溝（道路清掃）延長28,764 <i>m</i>

(6) 農林水産業費

事業名等	事業費	内容と成果
1 緑化用苗木育成管理委託事業	1,590,000 ^円	<p>市内の農業者5人に緑化用苗木を管理委託し、公共施設はもとより、出生記念樹、自治会等、市内の緑化推進を図った。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
2 樹林地等保全事業	6,234,969 ^円	福生市の緑を守り育てる条例に基づき市内のA・B農地、平地林について肥培管理、環境が良好な面的つながりが7アール以上あるものについて、土地所有者と5年間の協定を結び、指定した土地所有者に対し、税額の70%を、準山林については1平方メートル当たり20円の奨励金を交付し、緑地の保全を図った。

(7) 商工費

事業名等	事業費	内容と成果
1 中小企業振興資金融資	23,000,000 ^円	市内で事業を営む中小企業に資金を融資し、自主的な経済活動の促進と地位の向上を図った。
2 商工会補助金	7,740,000 ^円	商工会の管理運営上必要な経費を補助し、市の商工振興に寄与した。
3 商工業技術研修施設建設事業	99,930,000 ^円	市内の商工業者の研修等を行い、商工振興の促進と地位の向上を図ることを目的とする。

(8) 土 木 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果				
1. 道路新設改良	92,274,000 ^円	(1) 新設改良工事 55,205,000 円 雨水排水、拡幅、舗装、打替等の改良工事の実施に伴い、排水能力の向上交通安全の確保、騒音振動の解消等歩行者及び付近住民の生活環境の整備が図れた。	工事件名	工事箇所	工事金額	工事内容
			仮称市道1246号線道路新設工事	福生地内	3,430,000 ^円	L=117.8 ^m w=4.0 ^m A=385.0 ^{m²}
			〃	〃	1,550,000	L= 47.3 w=4.0 A=155.0
			市道283号線新設工事	熊川地内	5,260,000	L= 60.0 w=6.0 A=207.0
			市道283号線新設工事に伴う擁壁工事	〃	2,400,000	L= 40.8
			市道290号線改良舗装工事	〃	4,375,000	L=130.0 w=4.0~5.0 A=522.0
			市道1042号線拡幅改良工事	福生地内	4,350,000	L=103.3 w=4.0 A=108.0
			市道232号線改良舗装工事	熊川地内	2,050,000	L= 63.9 w=4.0 A=194.0
			市道201号線改良工事	〃	1,360,000	L= 32.8 w=4.0 A=130.0
			市道1105号線改良工事	福生地内	5,440,000	L=142.0 w=4.0 A=887.0
			市道1042号線改良工事	〃	7,000,000	L=147.0 w=8.0 A=1,087.0
			市道1072号線改良工事	〃	6,900,000	L=245.2 w=4.5 A=916.0
			市道1061号線ほか改良工事	〃	7,250,000	L=250.4 w=4.0 A=806.0
			市道212号線ほか2改良工事	熊川地内	3,220,000	L=179.0 w=20~40 A=496.0
		市道1199号線改良工事	福生地内	620,000	L= 51.8 w=2.43 A=125.0	
計			55,205,000			
(2) 舗装新設工事 5,850,000 円 L型U字側溝及び舗装の新設に伴い、雨水排水の円滑な処理が可能となり市道としての本来の機能が確保された。	市道286号線舗装新設工事	熊川地内	980,000 ^円	L= 55.0 ^m w=3.6 ^m A=159.0 ^{m²}		
	市道1243号線舗装新設工事	福生地内	2,820,000	L= 97.2 w=4.5 A=444.3		
	市道1244号線舗装新設工事	〃	2,050,000	L= 69.6 w=4.0 A=218.0		
	計			5,850,000		
(3) 舗装補修工事 11,850,000 円 舗装打替工事に伴い、騒音振動が減少し、一般歩行者及び車両の通行等交通障害が解消された。	市道105号線舗装工事	熊川地内	2,550,000 ^円	L= 33.8 ^m w=7.23 ^m A=224.0 ^{m²}		
	市道幹II-10号線舗装工事	福生地内	3,900,000	L=110.0 w=6.2 A=578.0		
	市道1121号線舗装補修工事	〃	5,400,000	L=188.7 w= ³⁸⁵ / _{~4.5} A=770.0		
	計			11,850,000		

事業名等	事業費	内 容					成 果	
		(4) 雨水排水整備工事 側溝新設雨水管の埋設及び雨水ますの設置等路面の排水を円滑にし、周辺家屋への浸水を除去し水害の防止に努めた。	16,874,000 円	工 事 件 名	工事箇所	工事金額	工 事 内 容	
				市道1135号線側溝新設工事	福生地内	1,320,000 ^円	L型177.4m	
				市道幹II-1号線雨水管接続工事	〃	3,000,000	人孔1か所φ500 ^m / _m 5.0m	
				市道幹I-1号線排水路整備工事	〃	3,130,000	人孔2か所φ500 ^m / _m 35.0m	
				市道231号線側溝新設工事	熊川地区	2,350,000	特L100.4 ^m L型475 ^m φ250 ^m / _m 94.4 ^m	
				市道幹II-13号線排水管埋設工事	〃	4,144,000	特L442.1 ^m U型451.2 ^m φ600 ^m / _m 103 ^m	
				市道1004号線ほか1排水ます工事	福生地内	1,310,000	吸入槽2か所φ250 ^m / _m 5.0m	
				市道幹II-11号線ほか2排水整備工事	〃	1,620,000	φ250~φ400 ^m / _m 108m集水ます4か所	
		計				16,874,000		
		(5) その他の工事 交通安全施設整備の一環とし、歩行者及び自転車利用者の安全な交通の確保を図った。	2,495,000 円	市道1172号線階段取付工事	福生地内	850,000	L=6.0m w=1.2m	
				市道66号線歩道整備工事	熊川地内	1,420,000	街きよ工245m 境石工245m A=265.0 ^m	
				市道6号線舗装新設工事	〃	225,000	L=25.5m w=2.1m A=53.0 ^m	
		計				2,495,000		
2 交通安全施設	31,990,000 ^円	(1) 道路照明工事 交通安全対策とし、暗所の改善を実施するとともに、防犯上の障害解消にも努めた。	12,740,000 円	道路照明灯設置工事	市 内	1,500,000	100w 37灯	
				〃	〃	5,450,000	400w 42灯	
				〃	〃	4,600,000	100w 73灯	
				〃	〃	530,000	100w 6灯 400w 1灯	
				〃	〃	660,000	100w 13灯	
		計				12,740,000		
		(2) 道路反射鏡設置工事 車両のすれ違い、見通しの悪い箇所などを考慮し、市民からの要望、警察署からの要請に基づき、交通安全の確保を図った。	4,500,000 円	道路反射鏡設置工事	市 内	4,500,000	一面鏡46本 二面鏡8本	
		計				4,500,000		

事業名等	事業費	内 容 と 成 果					
	円	(3) 道路標識設置工事 交通障害の改善策として、要所市道の安全に努めた。	8,200,000 円	工 事 件 名	工事箇所	工事金額	工 事 内 容
				道路標識設置工事	市 内	8,200,000 円	警戒標識 40 本
		計				8,200,000	
		(4) 歩道及び準歩道設置工事 児童の通学はもちろん、一般住民の事故未然防止が図られた。	10,700,000 円	市道幹Ⅱ-3号線歩道設置工事	福生地内	8,430,000 円	L=445.1m w=1.5m
				市道加美平13号線ほか3路線準歩道設置工事	〃	2,270,000	ガードレール L=304.0m
		計				10,700,000	
		(5) 区画線設置工事 運転者の正しい走行を促し、歩行者の安全を確保することから新設道路を主に実施した。	3,230,000 円	市道加美平14号線ほか3路線区画線設置工事	市 内	380,000 円	外側線 L=1,057.0m
				市道幹Ⅱ-4号線ほか16路線区画線設置工事	〃	2,530,000	外側線 L=7,027.0m
				市道1135号線ほか3路線区画線設置工事	〃	320,000	外側線 L=878.0m
		計				3,230,000	
3 緊急道路整備	143,680,000 円	(1) 新設改良工事 防衛補助事業として、拡幅、雨水排水管理設、側溝の新設等改良工事実施に伴い、周辺住民の障害が除去され、生活環境の整備が図られた。	107,600,000 円	市道6号線改良舗装工事	熊川地内	9,000,000 円	L=278.2m w=4.0m A=895.0m ²
				市道76号線ほか1道路新設改良工事(一工区)	〃	56,620,000	L=298.0m w=4.0m A=746.0m ² φ800mm 256.5m
				市道76号線ほか1道路新設改良工事(二工区)	〃	2,478,000	L=311.0m w=4.0m A=971.0m ² φ500mm 307.98m
				市道76号線ほか1道路新設改良工事(その2)	〃	12,000,000	L=206.9m w=6.4m A=1,153.0m ² φ400mm 207.0m
				横田4号踏切拡幅工事	〃	5,200,000	L=8.0m w=4.0m
		計				107,600,000	
		(2) 舗装補修工事 防衛補助事業による舗装打替工事で交通障害が解決され、周辺住民の生活環境が保たれ本来の目的が達成された。	36,080,000 円	市道武蔵野台1号線舗装補修工事	福生地内	16,880,000 円	L=281.4m w=10.0m A=3,003.0m ²
				市道幹Ⅰ-1号線舗装補修工事	〃	15,000,000	L=388.0m w=6.92m ~7.04m A=2,717.64m ²
				市道66号線ほか2舗装工事	熊川地内	3,750,000	L=301.9m w=1.15m A=447.0m ²
				市道幹Ⅰ-1号線改修工事	福生地内	450,000	φ200mm~φ250mm 4か所
		計				36,080,000	

(9) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 消防自動車購入	8,150,000 ^円	消防自動車を1台購入し、消防力の充実を図った。
2 防火貯水槽整備	1,645,000 ^円	防火貯水槽を1基新設し、消防施設の整備を図った。
3 災害用濾水機購入	6,750,000 ^円	災害用濾水機を5台購入し、飲料水の確保と防災力の整備を図った。
4 三角バケツ配布事業	5,888,040 ^円	三角バケツを市内全世帯に配布し(3か年計画で本年は、本町地区を中心に配布)、初期消火体制の確立と飲料水の確保を図った。

(10) 教 育 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育振興	1,865,000 ^円	小・中学校の卒業生に記念品を贈呈 (1) 中学生になって英語の授業に利用できるように小学校卒業生に英和・和英辞典を贈呈した。 (2) 進学・就職して利用できるように中学校卒業生に漢和辞典を贈呈した。
2 心身障害教育	1,581,989 ^円	熊川地区の障害児学級として福生第二小学校に「くまがわ学級」を開設した。
3 福生市立福生第五小学校増築第三期工事	137,783,000 ^円	鉄筋コンクリート造4階建(一部2階建)1,112.052 ^m ² 普通教室2 特別教室3 印刷室1 更衣室1 ほか

事業名等	事業費	内容と成果
4 福生市立福生第一小学校防音機能復旧工事	56,000,000 ^円	鉄筋コンクリート造3階建 3,649 m ²
5 福生市立福生第二中学校増築第五期工事	61,814,000 ^円	鉄筋コンクリート造4階建 334 m ² 普通教室4
6 福生市立福生第一中学校防音機能復旧工事	52,570,000 ^円	鉄筋コンクリート造3階建 4,356.14 m ²
7 社会教育	2,646,340 ^円	<p>(1) 第8回市民文化祭 919,020 円 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場として、実行委員会による文化祭を実施した。 参加団体 101 個人参加 6人</p> <p>(2) 成人式 295,150 円 市民が成人した人達を祝い励ますと同時に社会的責務の重要さと、認識を高めるよう努めた。</p> <p>(3) 文化財保護事業 1,432,170 円</p> <p>イ 文化財調査 昭和49年からの市内文化財総合調査4年目として民俗、植物、文書調査を実施した。又今年新たに社寺建築として熊川神社本殿の調査をした。</p> <p>ロ 報告書刊行事業 市内埋蔵文化財分布調査報告書 第三次長沢遺跡発掘調査報告書</p> <p>ハ 文化財の指定 市史跡 長塩氏の墓 市重宝 石 捧</p>

事業名等	事業費	内容と成果
8 青少年問題対策	640,552 ^円	<p>(1) 昨年度に引き続き、夏季青少年の非行化防止として の一声運動を、秋には不健全図書を売る自販機の 撤去運動を青少年問題地区委員会を主体に展開し た。</p> <p>一声運動については、地域運動として展開でき又 自販機撤去運動については、撤去4台、収容雑誌 の変更2台、契約期限後に撤去予定2台という結 果であった。 610,552 円</p> <p>(2) 青少年問題モデル地区指定 30,000 円 小学校区内の地区委員会が連けい共同して、青少 年を取りまく環境の健全化と事業の推進、組織の 充実を図るため、モデル地区を指定した。 各々の事業が効果的にでき好評だった。</p>
9 市民会館整備	67,145,870 ^円	<p>(1) 市民会館、公民館の開館に伴い、舞台、集会室等 の必要備品を購入した。</p> <p>ブロンズ像 8,500,000 円 壁 掛 5,100,000 円 ピ ア ノ 3,174,000 円 絵 画 3,693,200 円 舞台関係 16,180,180 円 そ の 他 18,067,490 円</p> <p>(2) 駐車場整備工事 8,830,000 円 車で来館する利用者に駐車場を整備した。</p> <p>収容台数 69台</p> <p>(3) 植栽工事 990,000 円 会館周辺の緑化を進めるため各種植樹をした。</p> <p>(4) 牛浜第2町会地区テレビ共同受信施設設置工事 2,500,000 円</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>会館建物による電波障害を解消するため共同受信施設を設けた。</p> <p>(5) その他の工事 111,000 円</p>
<p>10 市民会館開館記念行事</p>	<p>4,820,000^円</p>	<p>市民会館、公民館の開館を記念して、大・小ホール及び各集会室等で記念行事を実施した。</p> <p>6月29日(水) 会館完成祝賀式典 市民文化展</p> <p>30日(木) TBS公開録画“歌のアルバム” 市民文化展</p> <p>7月1日(金) 山根弥生子ピアノリサイタル 市民文化展</p> <p>2日(土) 歌と笑いのヒットパレード 市民文化展</p> <p>3日(日) 児童劇「ねぎの里は大きわぎ」 市民文化展</p> <p>9日(土) 市民バレエ公演</p> <p>10日(日) 市民バレエ公演 市民音楽会、市民吟詠会</p> <p>16日(土) 市民日本舞踊</p> <p>17日(日) 市民民踊(唄と踊り) 市民小劇場(人形劇と放送劇)</p>
<p>11 市民会館主催事業</p>	<p>3,369,410^円</p>	<p>(1) 青少年芸術劇場バレエ「ジゼル」592,000 円 青少年に対し、すぐれた舞台芸術の鑑賞を通じ芸術鑑賞能力の向上と豊かな情操のかん養に資する機会として公演した。</p> <p>公演回数 1 回 入場者数 937 人</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>(2) ふっさファミリーコンサート 890,680 円 ボニージャックスと市民コーラスがジョイントすることにより身近な歌の集いとし、合唱の楽しさ、喜びを味わう機会として公演した。</p> <p>公演回数 1 回 入場者数 605 人</p> <p>(3) オーケストラと共に 945,490 円 日本におけるアマチュアオーケストラの最高の地位にあると言われる新交響楽団と芥川也寸志氏を迎え、初めて交響楽に接する人のために、また市民音楽団体として自主的音楽活動を進めている人達のために、音楽を更に生活の中に定着し、豊かな市民生活を樹立するための契機として公演した。</p> <p>公演回数 1 回 入場者数 1,035 人</p> <p>(4) 親と子の市民劇場「オニの子・ブン」 941,240 円 すぐれた児童文学作品の鑑賞を通して豊かな感受性を育て、いきいきとした生活力と創造性のある子供たちの育つことを願い、劇団ひまわりを迎え公演した。</p> <p>公演回数 2 回 入場者数 午前 579 人 午後 681 人</p>
12 公民館活動	1,181,000 円	<p>(1) 子供会実技講座 32,000 円 地域子供会の大人の指導者に対して、子供会指導の実務的側面＝野外活動の方法や、ゲームの指導等、主に技術習得を中心とした講座を開設した。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>開催回数 5 回 参加者数 23 人</p> <p>(2) 子供の教育と文化を考える講座 34,000 円 子供の成長や発達にとって大事な問題を整理しながら文化・教育状況を正しく理解していく場として開設した。</p> <p>開催回数 7 回 参加者数 13 人</p> <p>(3) 冬の自然教室 45,000 円 多摩川に来る冬鳥の観察を通じて、福生や多摩川の自然をみつめていくと同時に、自然に親しみながら、地域の自然を考えていく教室として開設した。</p> <p>開催回数 5 回 参加者数 30 人</p> <p>(4) 青年学級（英会話） 100,000 円 職場など実生活で必要度の高まっている英会話を10代から50代までという幅広い年齢層の参加者に、各自の一週間の出来事を自由に話し合ってもらおうという仲間づくりの中で協同しながら身につけていく方法で開設した。</p> <p>開催回数 35 回 参加者数 40 人</p> <p>(5) 若い市民の講座 196,000 円 第1に福生の青年及び市民が、自らの文化的欲求を充足していくための“学習機会”を設け、地域の市民、青年の学習、文化活動を広げ高める。第2に青年自身がこうした機会を設け、学習の主體的な組み立てを実現させる。このことを基礎に本年度</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>参加者数 15人</p> <p>(9) 市民大学講座（学校教育を考える）90,000円 学校教育“学習指導要領”を学ぶことを中心とした講座を開設した。</p> <p>開催回数 6回</p> <p>参加者数 20人</p> <p>(10) 市民大学講座（郷土史専門講座）90,000円 市民が自分達の手で、地域の歴史を発掘し、再編成していく力をもつことを期待した講座として開設した。</p> <p>開催回数 7回</p> <p>参加者数 15人</p> <p>(11) 申請市民大学講座（女を考える講座）30,000円 女が社会的な主体者として生活し、自立していくために現状の様々な制約条件を考えると同時に、女としての性や生理について考えながら、本来の人間としての自立を実現するために開設した。</p> <p>開催回数 7回</p> <p>参加者数 15人</p> <p>(12) 視聴覚リーダー研修会 6,000円 16ミリ映写機の操作等視聴覚教育について研修することにより、視聴覚教育の拡充を目指し開設した。</p> <p>開催回数 5回</p> <p>参加者数 39人</p> <p>(13) わんぱく教室 労働の経験を大事にしながら学ぶことの楽しさを加え、縄文時代の生活を追体験する中で仲間と一緒に作業する楽しさ、労働の経験等の追求を試</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>みて開設した。</p> <p>開催回数 14回 参加者数 56人</p> <p>(14) 青年団体リーダー研修会 各青年サークル1年間の活動報告による活動目的や個人の係わりを考える中で青年のサークル(小集団)活動を今後どのようにすすめ、どう青年ひとりひとりの力をつけるものとなるかを確認し、来年度へ更に充実した活動を展開し得るよう研修会を開設した。</p> <p>開催回数 5回 参加者数 50人</p> <p>(15) 成人のつどい実行委員会 「成人のつどい」は1)成人者自身が成人することの意味を再確認、再認識し、それを皆のものにする。2)成人のつどいを自分達の手で作出すことによって共通の活動への参加連帯性の生まれる契機とする。3)地域社会の活動への参加により地域を考える契機とする。を目的とし実行委員会を結成した。</p> <p>開催回数 18回 参加者数 13人</p> <p>(16) 婦人英会話教室 日米親善の一環として横田基地将校婦人クラブの方々の手により英会話技術の習得と同時に日常生活レベルに接近した文化交流を中心に様々な交流の機会として開設した。</p> <p>開催回数 31回 参加者数 100人</p>

事業名等	事業費	内容と成果										
		<p>(17) 保育懇談会 保育者と母親の関係を深めるために開設した。 開催回数 1 回 参加者数 16 人</p> <p>(18) 月例自然観察会 福生の自然に親しみながら地域の自然保護に係わる住民の底辺を広げるためと、大人から子供までの参加の中で昔の自然景観を伝え、今日の変化と比べていくことを考え開設した。 開催回数 5 回 参加者数 39 人</p>										
13 図書館整備	6,018,000 円	<p>児童書 3,727 冊、一般書 4,037 冊を購入し市民への貸出内容の充実強化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 登録者数 7,389 人 • 貸出冊数 181,056 冊 • 団体貸出 2,198 冊 										
14 仮称福生市中央地区学習等供用施設建設工事	8,151,000 円	<p>鉄筋コンクリート造地上2階建 560.947 m²</p> <table border="0"> <tr> <td>(1) 建築工事</td> <td>57,100,000 円</td> </tr> <tr> <td>(2) 外構工事</td> <td>2,800,000 円</td> </tr> <tr> <td>(3) 除湿温度保持設備工事</td> <td>12,580,000 円</td> </tr> <tr> <td>(4) 給排水衛生設備工事</td> <td>3,330,000 円</td> </tr> <tr> <td>(5) 電気設備工事</td> <td>5,700,000 円</td> </tr> </table>	(1) 建築工事	57,100,000 円	(2) 外構工事	2,800,000 円	(3) 除湿温度保持設備工事	12,580,000 円	(4) 給排水衛生設備工事	3,330,000 円	(5) 電気設備工事	5,700,000 円
(1) 建築工事	57,100,000 円											
(2) 外構工事	2,800,000 円											
(3) 除湿温度保持設備工事	12,580,000 円											
(4) 給排水衛生設備工事	3,330,000 円											
(5) 電気設備工事	5,700,000 円											
15 保健体育振興	10,136,000 円	<p>体育スポーツが生活機能の向上や社会性の育成という大きな役割をもっており、これを効果的に活用することにより市民の健全な生活設計や地域連帯等に役立てていくことが必要である。そのための社会体育施策と</p>										

事業名等	事業費	内容と成果																		
		<p>しては段階的に漸次進行を図りながらも特に主催事業の精選や大会行事等の内容の充実と適性な配慮をしながら逐次進行を図った。</p> <p>(1) 市民体育館 96,000 円 市民の健康増進とスポーツ振興を図ると共にコミュニケーション作りを目指し、各種事業を実施した。</p> <p>(2) 学校体育施設の開放 市内小中学校の体育施設（校庭・体育館）の開放を関係機関と連携をとり発展的に進めた。</p> <p>(3) 市営水泳場料金の改定 水道料金等の値上げ等による維持費の増大と他市との均衡を考慮して適正料金に改定した。</p> <table border="1" data-bbox="677 963 1214 1218" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>旧</th> <th>新</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用料</td> <td>大人</td> <td>40^円</td> <td>150^円</td> </tr> <tr> <td>小人（中学生以下）</td> <td>20</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">超過使用料（1時間）</td> <td>大人</td> <td>20</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>小人（中学生以下）</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 市営水泳場濾過機取替工事 5,900,000 円 従来の濾過機は珪藻土方式のために、珪藻土の投入や点検調整に時間がかかったが、今回の工事により珪藻土の不用（カートリッジ方式のため）等による点検調整時間の短縮と濾過能力が向上した。</p> <p>(5) 市営水泳場塗装工事 4,140,000 円 塗装工事により水泳場本体の維持はもとより市民がより一層快適に利用できる場として様相を一新することができた。</p>	区 分		旧	新	使用料	大人	40 ^円	150 ^円	小人（中学生以下）	20	50	超過使用料（1時間）	大人	20	70	小人（中学生以下）	10	20
区 分		旧	新																	
使用料	大人	40 ^円	150 ^円																	
	小人（中学生以下）	20	50																	
超過使用料（1時間）	大人	20	70																	
	小人（中学生以下）	10	20																	

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 療養給付費給付	562,054,628 ^円	<p>被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。</p> <p>被保険者1人当たり費用額 50,267 円</p> <p>被保険者1人当たり保険者負担額 34,986 円</p> <p>受診率 496.99 %</p> <p>1件当たりの費用額 10,114 円</p>
2 療養費支給	8,504,712 ^円	<p>療養の給付を行うことが困難であると認めるとき又は緊急その他やむを得ない理由によると認めるとき、及び柔道整復師による施術に対して療養の費用を支給した。</p> <p>被保険者1人当たりの費用額 529 円</p> <p>支給件数 1,133 件</p> <p>1件当たりの費用額 7,506 円</p>
3 高額療養費支給	38,249,205 ^円	<p>高額な医療について被保険者の経済的負担を軽減するため、一部負担金が39,000円を超えた場合、超えた金額を高額療養費として支給した。</p> <p>支給件数 1,004 件</p> <p>1件当たり保険者負担額 38,097 円</p>
4 助産費支給	8,280,000 ^円	<p>被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して助産費を支給した。</p> <p>1件当たりの支給額 40,000 円</p> <p>支給件数 207 件</p>
5 育児手当金支給	404,000 ^円	<p>被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して育児手当金を支給した。</p>

事業名等	事業費	内容と成果
		<p>1件当たりの支給額 2,000 円</p> <p>支給件数 202 件</p>
6 葬祭費支給	930,000 ^円	<p>被保険者が死亡したとき、その葬祭を行う者に対して葬祭費を支給した。</p> <p>1件当たり支給額 10,000 円</p> <p>支給件数 93 件</p>
7 保養施設提供	49,500 ^円	<p>被保険者の健康の保持増進に資するため、5か所の保養施設と契約し、被保険者の利用に供した。</p> <p>利用件数 19 件</p> <p>利用者数 延 35 人</p>

3 福生都市計画事業福生土地区画整理事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 加美平地区事業	246,486,161 ^円	一部権利者との裁判が和解し、残されていた補償、工事、家屋移転等順調に施行した。これにより53年度で事業完了の見通しが得られた。
2 福生駅東口地区事業	124,248,360 ^円	補償及び工事等は順調に進展し、仮換地の指定も約80.70%まで済ませた。

4 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
公共下水道事業	1,029,859,692 ^円 (53年度への繰越分42,000,000円)	多摩川左岸多摩川上流流域下水道の多摩川上流幹線の進捗に伴い、流域関連公共下水道としての公共下水道の事業を行って都市環境の整備を図るものであり、本年度は第1期事業認可区域の最終年度にあたり、昭和53年度供用開始に伴う排水設備関係下水道使用料金等の準備を行った。

5 受託水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果														
配水管布設	38,317,000 ^円	<p>配水管布設工事及び配水管布設替工事の施工により、生活水準向上に伴う給水量増加に対処させるべき給水体制の整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配水管新設 <table border="0"> <tr> <td>□ 径</td> <td>100 $\frac{m}{m}$</td> <td>150 $\frac{m}{m}$</td> <td>250 $\frac{m}{m}$</td> </tr> <tr> <td>布設延長</td> <td>1,687.4m</td> <td>321 m</td> <td>131.6 m</td> </tr> </table> 配水管布設替 <table border="0"> <tr> <td>□ 径</td> <td>100 $\frac{m}{m}$</td> <td>150 $\frac{m}{m}$</td> </tr> <tr> <td>布設替延長</td> <td>125 m</td> <td>118 m</td> </tr> </table> 	□ 径	100 $\frac{m}{m}$	150 $\frac{m}{m}$	250 $\frac{m}{m}$	布設延長	1,687.4m	321 m	131.6 m	□ 径	100 $\frac{m}{m}$	150 $\frac{m}{m}$	布設替延長	125 m	118 m
□ 径	100 $\frac{m}{m}$	150 $\frac{m}{m}$	250 $\frac{m}{m}$													
布設延長	1,687.4m	321 m	131.6 m													
□ 径	100 $\frac{m}{m}$	150 $\frac{m}{m}$														
布設替延長	125 m	118 m														